

分野	品格あるくまもと	戦略	低炭素、循環及び共生を基調とした持続可能な社会
		重点的に取り組む施策	健全な水循環と環境の保全

番号	事業名 担当課	予算・決算 (千円) 上：H21予算 中：H21決算 下：H22予算	事業の概要	事業の成果、実施上の課題、改善の方向性等
1	熊本地域地下水保全協働推進事業	1,565	熊本地域地下水対策会議が策定した「熊本地域地下水総合保全管理計画・第1期行動計画」に掲げられた地下水かん養対策や持続的な仕組みづくりに向けた施策等の進行管理を行う。	○平成21年度の実績、成果 ・対策会議を開催し、今後の地下水保全管理の中核となる組織等に関する考えを整理するとともに、条例改正についても検討を開始することで合意を得た。 ○事業実施上の課題、今後の改善の方向性 ・地下水保全管理のための組織について検討し、全市町村の合意を得るよう努める。 ・事業推進のための関係機関と引き続き調整を行う。
	水環境課	1,082		
2	地下水位監視事業	6,721	県内29カ所の観測井の水位を毎月測定して、地下水位の変化を監視する。 平成21年度に4カ所増設し、本年度からは33カ所で監視する。	○平成21年度の実績、成果 ・毎月の定期観測を着実に実施するとともに、設備が老朽化したり故障したものは適宜交換・修理を行った。 ・県の観測井が未整備であった阿蘇地域及び嘉島町に4カ所の観測井を新設した。 ○事業実施上の課題、今後の改善の方向性 ・本年度からは33カ所の観測井で測定を行う。
	水環境課	5,172		
3	節水推進事業	979	地下水量の保全のため、企業や水道事業者等と連携して節水に取り組むとともに、熊本県地下水保全条例に基づき、地下水採取量の把握を行っている。	○平成21年度の実績、成果 ・地下水採取量の未提出者に対する全戸訪問調査を実施して調査票の回収に努めた。 ・市町村と連携しながら、様々な媒体等を活用して節水を広く呼びかけた。 ○事業実施上の課題、今後の改善の方向性 ・市町村と連携した節水の広報活動を継続する。 ・地下水採取量報告の提出率を向上させる。
	水環境課	201		
4	地下水質監視事業	11,271	地下水の水質汚濁状況を監視し環境基準達成状況の評価等を行い、また地下水汚染防止のため工場等に対し監視、指導を行う。 ①水質汚濁防止法第15条に基づき地下水の水質調査を実施し、環境基準達成状況の評価する。 ②県地下水保全条例に基づき対象事業場に立入調査を実施する。 ・対象施設、関係帳簿類等の検査 ・排水や井戸水の行政検査	○平成21年度の実績、成果 ①地下水質測定計画に基づき調査を行い、環境基準不適合の井戸所有者に対し飲用指導を実施した。 ②95事業場に立入調査を実施した。排水や井戸水に基準を超過するものはなかった。 ○事業実施上の課題、今後の改善の方向性 今後も調査を実施し、水質汚濁状況を監視する。 地下水の環境基準項目に新たに追加された1,4-ジオキサン等の基準達成状況の評価。
	水環境課	4,637		
5	熊本の水「夢戦略」事業	7,997	質量ともに優れた本県の地下水による熊本の地域イメージや付加価値向上についての検討を行うとともに、新たな地下水かん養策の推進を図る。 ①有識者による水の戦略会議の開催 ②熊本県地下水保全条例の見直しに向けた取組 ③熊本地域（台地部）地下水かん養実証事業	○平成21年度の実績、成果 ・戦略会議は3回開催して、中間提言をいただいた。 ・地下水保全条例の見直しを、対策会議に提起した。 ○事業実施上の課題、今後の改善の方向性 ・戦略会議は本年度まで継続して、水の活用方策等の議論をしていただく。 ・条例改正については、本年度から本格的に改正作業に着手する。 ・かん養実証事業については、まず地元との協議に着手する。
	水環境課	4,610		
6	熊本の水資源保全活用事業	-	本県への戦略資源である水資源の保全及び多面的な活用に向けた基礎的調査やモデル事業への支援に取り組む。 ①重要な湧水資源を対象とした湧水源地域管理実態調査事業 ②森林の有する地下水かん養効果に係る調査研究事業 ③湧水資源を活かした地域活性化推進事業	○平成21年度の実績、成果 - ○事業実施上の課題、今後の改善の方向性 ・重要な湧水資源の保全のための情報を収集する。 ・地下水かん養効果をより正確に把握する。 ・水をテーマとした地域活性化を支援する。
	水環境課	11,500		
7	水環境教育・県民運動推進事業	2,845	子どもたちを対象とした水環境教育を実施するとともに、行政、民間団体、県民が連携して、熊本のきれいな川や海を健全な姿で次世代へ継承していくための県民運動を展開する。 ①水の作文コンクール（中学校） ②水の学校（小学校）、水のお話し会（幼稚園・保育園） ③みんなの川と海づくりデー ④みんなの川と海づくり県民大会	○平成21年度の実績、成果 ・水の作文コンクールへの応募数は8年連続日本一であるほか、みんなの川と海づくりデーや県民大会の参加者も年々増加している。 ○事業実施上の課題、今後の改善の方向性 ・それぞれの事業の周知を図り、応募数や参加者数を年々増加させる。
	水環境課	1,364		
		2,838		

番号	事業名 担当課	予算・決算 (千円) 上：H21予算 中：H21決算 下：H22予算	事業の概要	事業の成果、実施上の課題、改善の方向性等
8	水質環境監視事業	29,470 15,288	<p>公共用水域の水質調査を行い水質の汚濁状況を監視し環境基準達成状況の評価等を行う。</p> <p>①水質汚濁防止法第15条に基づき公共用水域の水質調査を実施し、環境基準達成状況を評価する。</p> <p>②主要水浴場（19カ所：年間利用人口5,000人以上）調査を実施し水浴場の水質の状況を把握し、衛生指導に繋げる。</p> <p>③河川における水生生物モニタリング調査で水質の多面的な把握を実施する。</p> <p>④水俣湾環境対策基本方針に基づき水俣湾の環境調査を実施する。</p>	<p>○平成21年度の取組みの実績、成果</p> <p>①公共用水域水質測定計画に基づき調査を実施した。</p> <p>②水浴場19カ所調査を実施した。</p> <p>③水生生物モニタリング調査を35カ所で行った。</p> <p>④水質、底質、地下水、魚類、プランクトン中の水銀値を調査した。</p> <p>○事業実施上の課題、今後の改善の方向性</p> <p>今後も調査を実施し、水質汚濁状況を監視する。</p> <p>平成18年度から環境基準に水生生物の生息又は生育環境の保全の観点から新たに「亜鉛」が設定された。今後、環境基準の類型指定に向けた準備が必要。</p>
	水環境課	26,743		
9	水質環境重点調査事業	11,365 2,177	<p>有明海・八代海を再生するための特別措置に関する法律に基づき平成15年に有明海・八代海再生に向けた熊本県計画を策定し、海域環境の向上に取り組んでいるところだが、近年、有明海及び八代海の一部海域において水質環境基準未達成となる状況が見られる。</p> <p>このため、水質濃度上昇の要因やメカニズムの検証に資する基礎資料を得ることを目的として、平成21年度から5カ年計画で海域水質の重点的な調査を実施している。</p>	<p>○平成21年度の取組みの実績、成果</p> <p>平成21年度は、通常は実施しない深さ毎の水質の状況や底質について、八代海の中～北部で重点的な調査を行った。</p> <p>5ヶ年計画で調査を行っており未だ調査を継続している段階であるが、濃度上昇の要因の一つとして、成層の形成、過去から堆積した栄養塩類の海底底質からの溶出・巻き上げ等が示唆されるデータが得られた。</p> <p>結果は、中間とりまとめとして県環境審議会水保全部会に報告した。</p> <p>○事業実施上の課題、今後の改善の方向性</p> <p>今後、結果の評価については専門家とも相談しながらより正確な評価に繋げ、更なるデータの蓄積を図る。</p> <p>県議会等から富栄養化のメカニズム解明や効果的な対策の検討を求められているが、原因の究明が極めて難しい課題である。基礎的な科学的知見を積み重ねる必要がある。</p>
	水環境課	11,264		
10	生活排水処理構想策定事業	—	<p>・地域の実態にあった効率的・効果的な施設整備及び管理運営に向けて、各施設の特性を活かした適正な役割分担と連携を推進するための新たな生活排水処理構想を策定する。</p>	<p>○平成21年度の取組みの実績、成果</p> <p>—</p> <p>○事業実施上の課題、今後の改善の方向性</p> <p>人口減少等の社会情勢の変化をふまえ、地域の実態・意向を適切に把握し、構想に反映させる必要がある。</p>
	下水環境課	7,500	<p>[平成21年度の状況]</p> <p>構想に係る多角的視点からの意見・助言を得るため「生活排水対策から始まる循環型社会づくり懇談会」を開催した。</p>	
11	浄化槽整備事業	271,728 234,518	<p>・公共用水域の水質保全を図るために、浄化槽（個人設置型・市町村設置型）の整備に対する補助を行う。</p>	<p>○平成21年度の取組みの実績、成果</p> <p>市町村設置型浄化槽については10市町村への補助を行い、332基の整備が完了し、適正に汚水の処理を実施できる状況となった。</p> <p>個人設置型については、39市町村への補助を行い、1,912基の整備が完了し、適正に汚水の処理を実施できる状況となった。</p> <p>○事業実施上の課題、今後の改善の方向性</p> <p>本事業制度のもと浄化槽の整備は促進されているものの、法定検査等の受検率が未だ低い等、維持管理については大きな課題が残っている。整備した施設は適正な管理が必要であり、それを担保するために市町村設置型による整備等を推進する必要がある。</p>
	下水環境課	293,653		
12	農業集落排水施設整備推進費	104,496 104,496	<p>・農業集落排水施設の整備促進のため、団体営農業集落排水事業実施の翌年度に、地方債の償還財源として対象事業費の6.5%を交付する。</p>	<p>○平成21年度の取組みの実績、成果</p> <p>三玉・八幡地区他8地区について、平成20年度農業集落排水事業費に対して、高年度交付金（6.5%）を交付した。</p> <p>○事業実施上の課題、今後の改善の方向性</p> <p>効率的・効果的な整備を推進するために、社会情勢の変化や地域の実態にあわせた整備計画を策定する必要がある。</p>
	下水環境課	113,519		
13	低コスト型農業集落排水施設更新支援事業	8,000 8,000	<p>・既存の農業集落排水施設の有効活用や長寿命化を図るための最適整備構想を策定する市町村に対し補助を行う。</p>	<p>○平成21年度の取組みの実績、成果</p> <p>玉名市、山江村の農業集落排水処理施設の機能診断を実施（4カ所）した。</p> <p>○事業実施上の課題、今後の改善の方向性</p> <p>玉名市、山江村については、平成22年度に機能診断の実施（6箇所）及び最適整備構想をとりまとめる予定である。（将来的な維持修繕、改築等の計画）</p>
	下水環境課	22,000		

番号	事業名 担当課	予算・決算 (千円) 上：H21予算 中：H21決算 下：H22予算	事業の概要	事業の成果、実施上の課題、改善の方向性等
14	団体営農業集落排水事業費	751,439	・農業集落におけるし尿・生活排水等を処理する施設の整備を行う市町村に対し補助を行う。	○平成21年度の取組みの実績、成果 錦野地区（大津町）他5地区において、計画に基づく整備を実施した。内2地区が平成21年度で完了している。 平成22年4月の供用開始（杉水地区等）により、約1,500人の汚水処理が可能となった。 ○事業実施上の課題、今後の改善の方向性 効率的・効果的な整備を推進するために、社会情勢の変化や地域の実態にあわせた整備計画を策定する必要がある。
	下水環境課	696,195 630,700		
15	漁業集落排水施設整備 後年交付金	118,612	・市町村が行う漁業集落環境整備事業における漁業集落排水施設整備に係る地方償還又は償還のための資金積み立てに要する経費に対し交付金を交付する。	○平成21年度の取組みの実績、成果 船津地区（天草市）、佐伊津地区（天草市）、網田地区（宇土市）において実施した。 ○事業実施上の課題、今後の改善の方向性 効率的・効果的な整備を推進するために、社会情勢の変化や地域の実態にあわせた整備計画を策定する必要がある。
	下水環境課	118,612 3,250		
16	漁業集落排水施設整備 市町村補助	26,000	・漁業集落におけるし尿・生活排水等を処理する施設の整備を行う市町村に対し補助を行う。	○平成21年度の取組みの実績、成果 網田地区（宇土市）において整備を実施した。 ○事業実施上の課題、今後の改善の方向性 効率的・効果的な整備を推進するために、社会情勢の変化や地域の実態にあわせた整備計画を策定する必要がある。
	下水環境課	435,300 294,378		
17	熊本北部流域下水道建設事業	1,262,725	・熊本市北部、合志市、菊陽町の公共下水道からの下水を行政区域を越えて広域的に収集・処理するための処理施設の整備を行う。	○平成21年度の取組みの実績、成果 汚水量増加に伴う熊本北部浄化センターの処理施設の増設設計 下水汚泥量の増加に伴う熊本北部浄化センターの汚泥処理施設の増設工事 熊本北部浄化センターの既存施設の機能維持のための改築・更新工事 ○事業実施上の課題、今後の改善の方向性 流入水量の増加に伴う処理施設の増設と併せて、処理水質向上のための高度処理施設の導入及び既存施設の長寿命化等を処理機能を維持したまま推進するためには、施設の運転状況や下水処理機能を熟知したうえで実施する必要がある。
	下水環境課	1,283,984 1,008,600		
18	球磨川上流流域下水道建設事業	240,000	・錦町、あさぎり町、多良木町、湯前町、水上村の公共下水道からの下水を行政区域を越えて広域的に収集・処理するための処理施設の整備を行う。	○平成21年度の取組みの実績、成果 汚水量増加に伴う多良木中継ポンプ場のポンプ施設の増設工事 ○事業実施上の課題、今後の改善の方向性 社会情勢の変化や地域の実情に応じた整備とするために、整備計画の見直しを行う必要がある。
	下水環境課	188,600 282,000		
19	八代北部流域下水道建設事業	211,000	・八代市、宇城市、氷川町の公共下水道からの下水を行政区域を越えて広域的に収集・処理するための処理施設の整備を行う。	○平成21年度の取組みの実績、成果 汚水量増加に伴う千丁中継ポンプ場のポンプ施設の増設工事 ○事業実施上の課題、今後の改善の方向性 社会情勢の変化や地域の実情に応じた整備とするために、整備計画の見直しを行う必要がある。 氷川町の宮原処理区の宮原浄化センターについては、処理施設の老朽化に伴い、流域下水道への接続について検討中である。
	下水環境課	133,400 5,000		
20	上水道事業	10,062	水道施設の適正化・合理化を推進し、安全安心な水道水の安定的な供給を図るために、水道法に基づき水道整備に係る事業認可及び維持管理の適正化等について水道事業者等の指導監督を行う。併せて、水道普及率の低い地域・地下水汚染が進んでいる地域等を対象として飲用井戸等の衛生確保を図るために井戸所有者に対する水質検査の実施・飲用指導等を実施することにより、県民に安全・安心な飲用水を安定的に供給するための施策とする。	○平成21年度の取組みの実績、成果 水道事業の認可12件、変更認可7件 水道普及率85.9%（H21.3.31現在：前年度より0.2%増） 飲用井戸行政検査401件 ダイオキシン類検査7箇所 地域水道ビジョン策定（累計27団体） ○事業実施上の課題、今後の改善の方向性 本県の水道普及率は全国最下位であり、簡易水道が全国で4番目に多く脆弱な水道事業が数多く存在している。今後、簡易水小津の再編統合を通して運営基盤の強化を図る必要がある。
	水環境課	6,192 9,633		
21	水道未普及地域解消対策推進事業	—	県内の水道未普及地域は、その多くが過疎中山間地に位置しており小規模の飲料水供給施設や飲用井戸で飲料水の確保がなされているが、湧水量の減少や水質悪化、利用者の高齢化、施設の老朽化等の多くの課題を抱えている。このため、市町村と連携して、こうした未普及地域の実態把握と未普及地域解消のための対応方策を検討する。	○平成21年度の取組みの実績、成果 — ○事業実施上の課題、今後の改善の方向性 ・水道普及率が平成4年度現在から全国最下位。 ・県内の水道未普及地域の実態が県では把握できていないが、水道整備は基礎自治体の事務であり、調査には、市町村との連携の強化が必要。
	水環境課	5,324		